

仕 様 書

1 . 件名

原子力発電プラントの運転に関する体験研修業務 一式

2 . 目的

高専では原子力産業界に必要な実務的で実践的で開発能力を持った専門技術者の育成をめざしているが、そのためには、高専内での座学や実験実習だけでは十分なものとえず、実際の原子炉や訓練センターで原子力発電がどのように行われているのかを学生に施設・設備の運転、維持、開発、企画などの各業務を通じて効果的に基礎知識を習得させようとするものである。

3 . 請負期間

平成 2 3 年 3 月 1 0 日 ~ 平成 2 3 年 3 月 1 1 日

4 . 実施場所

実際の原子力発電所の挙動を模擬できるシミュレータを有し、かつ、研修内容を実施することが可能な場所。

5 . 講師

過去に類似研修業務を実施した実績を有し、本研修業務に必要な幅広い専門的知見等を有する者であること。

6 . 受講者数

1 0 名程度

7 . 研修内容

- (1) 原子炉は沸騰水型原子炉と加圧水型原子炉に分けられるが、我が国で現在最も多く運用されている沸騰水型原子炉 (BWR) のシステム構成、システムの目的が理解できる講習とすること。
- (2) 高専で学んでいる、物理学、化学、熱工学、制御工学、安全工学などの専門分野と関連付けた講習を行うこと。
- (3) 以下を含む原子力発電プラントに関する基本的な知識に関する講習を行うこと。
発電所の諸設備の機能、構造、作動原理、運転手法の概要解説。
発電所設備の通常運転動作 (起動・停止操作) の概要解説。
プラント出力変更操作の概要紹介。
- (4) 以下を含む原子力発電設備の通常運転操作、異常事象発生時の対応に関する講習を行うこと。
発電所の安全評価で想定される各種異常事象の概要解説。
異常事象が発生した場合の対処動作の概要解説。

- (5) 以下を含む原子力発電所制御室シミュレータを用いた運転実習を行うこと。
 制御盤に取り付けられているスイッチやメータと機能解説。
 発電所を起動するのに必要な運転項目を、研修者自ら操作体験。
 安全評価で取り上げられた各種の過渡・異常事象の観察。
 異常事象に対応する基本運転を、研修者自らが操作体験。

8. 提出物及び提出期限

図書名	提出期限	部数	備考
研修(業務)体制表	研修開始の1週間前	紙媒体1部及び電子媒体1部	様式1
業務従事者の実績	研修開始の1週間前	紙媒体1部及び電子媒体1部	様式2-1
業務従事者のスキル表	研修開始の1週間前	紙媒体1部及び電子媒体1部	様式2-2
組織としての実績	研修開始の1週間前	紙媒体1部及び電子媒体1部	様式3
契約書の写し	入札期限	紙媒体1部及び電子媒体1部	様式自由
その他	必要に応じ期限内		

なお、上記 ~ については、提出後に必ず機構本部担当者と協議の上、承諾を得ること。

9. 守秘義務

- (1) 請負者は、業務を通じて知り得た、発注者の業務上の秘密及び受講者の情報を、研修期間中であるなしに関わらず、第三者に漏洩してはならない。
- (2) 請負者は、本事業に係る情報と他の情報を明確に区別して、善良な管理者の注意義務をもって管理し、本事業以外に使用しないこと。

10. その他

本研修業務に係る関係法令等について、全て満たしていること。
 実施スケジュールは、担当者と協議し、その指示に従うこと。
 提出した報告書の記述に関し、即時説明できる体制を整えること。
 仕様書に定めのない事項がある場合、または疑義が生じた場合には、担当者と協議し、その指示に従うこと。